



MECHANICAL SYSTEM



AUTOMOTIVE ENGINEERING



ELECTRICAL SYSTEM



OB VOICE 01

0.01ミリの加工技術が、世界の運輸を支える。

東亜工機株式会社 谷田製造部工作課
布川 蛍さん[機械技術科 令和4年度修了]

※機械技術科は令和6年度から機械システム科になりました。

OB VOICE

佐賀県内の企業に就職した修了生たちにインタビュー。
産業技術学院で学んだことを活かして佐賀のものづくりを支える
5名の先輩たちの“リアルな声”を紹介します。



ARCHITECTURE



WOODCRAFTS AND CREATIVE

Q. 産業技術学院の入校動機は？

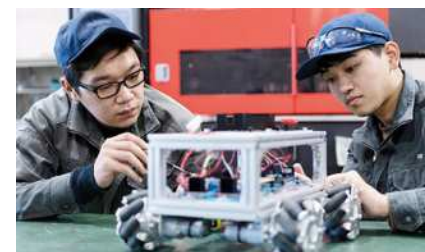
派遣社員として働いていましたが、新型コロナの影響で仕事を退職しました。その時、「一生をかけて自分に誇りを持つ仕事がしたい」と思い、学院に入校しました。

Q. 学院に入校してよかった点は？

知識がゼロでも、機械加工や溶接などの知識を実習や座学を通して身に付けられたり、加工コンテストに挑戦できたことです。

Q. 学院生活の思い出は？

1年生の時に受検した技能検定で知事賞を頂きました。仲間と毎日練習し、笑ったり悩んだりしたのも今では良い思い出です。



(学院時代の写真)

Q. 学院で学んだことで現在の仕事に活かしているのはどんなこと？

機械加工の基礎知識はもちろん、「自分で考える力」が身に付いたことです。実際の現場で「この時はこうしたらいい」という考え方や教えていただいた工具・機械の取り扱い方も今の仕事に活かされています。

Q. 現在の仕事内容は？

担当しているのはシリンダライナの冷却孔加工で、圧力がかかる部分を冷却させるための工程を担当しています。



Q. 仕事のやりがいは？

0.01ミリの加工精度を追い求めると共に、世界の運輸を支える仕事なので難しい部分も多くありますが、学院で学んだことを活かし、難しい加工が成功するとやりがいを感じます。自分が携わった製品を多くの人に使用していただけることは本当にありがたいです。



Q. 仕事をする上での今後の目標は？

一流の技術者になるため、まずは安全に作業することを心掛け、確実に仕事を覚えることを第一の目標としています。

Q. 未来の後輩へメッセージ

何を始めるにも遅いことはありません。挑戦はいつだって可能です。私も最初は無理だと思っていましたが、学びと創造によって広がる世界を知り、産業技術学院での2年間で私の人生を変えました。皆さんも知識と創造の楽しさをぜひ体感してください。

上司・先輩からのメッセージ

彼は1/100mm台の加工精度を要求される難しい仕事でも、常に高い品質とスピードを実現しています。彼の仕事ぶりは、我が社の技術力の高さを示すものです。これからも様々な仕事に挑戦し、成長して欲しいです。

東亜工機株式会社 谷田製造部工作課
課長 桑原 大さん





OB VOICE 02

知識と技術で人の命を守り、
確かな安心を提供する。

佐賀ダイハツ販売株式会社
吉田 裕貴さん[自動車工学科 令和元年度修了]



OB VOICE 03

知識ゼロから、電気の世界へ。
更なる高みを目指して。

国光施設工業株式会社 佐賀営業所
栗原 和也さん[電気システム科 令和3年度修了]

Q. 産業技術学院の入校動機は？

車やバイクが好きで、深く学びたいと思って
いた時、整備士の知人から自動車整備士の
国家資格が取れる学院を勧められました。

Q. 学院に入校してよかった点は？

少人数だからこそ一人ひとりに細かく指導
してもらえることや故障診断などの高度で
実践的な作業を経験できる点が魅力です。

Q. 学院生活の思い出は？

学院祭や球技大会、鬼の鼻山への山登り、
そして2年次、修了後クラス全員で山に
泊まり、バーベキューをしたことです。



(学院時代の写真)

Q. 学院で学んだことで現在の仕事に
活かしているのはどんなこと？

2年間で学んだ自動車についての知識や
得た技術はもちろんのこと、就職後の人
間関係に近い、異年齢が集まる環境下で
培ったコミュニケーション能力は、接客
などにも活かされています。

Q. 現在の仕事内容は？

点検作業や車検作業、重整備作業から飛び
込み対応まで、幅広く携わせていただい
ています。



Q. 仕事のやりがいとは？

複雑な修理や高度なトラブルを対処でき
た時、自分自身の成長を実感できます。
また、お客様からの「ありがとう」という
お言葉やお帰りの際の笑顔を見ると大変
嬉しく、やりがいを感じます。

上司・先輩からのメッセージ

私も学院修了生の1人です。学院では国家資
格取得のための勉強だけではなく、実践的な
事や整備士として、社会人としての在り方な
ど、多くを学びました。学院修了生と一緒に
仕事できる事を期待しています。

佐賀ダイハツ販売株式会社
サービスマネージャー 野瀬 浩司さん



Q. 仕事をする上での今後の目標は？

自動車整備士は人の命を預かる大切な仕
事。専門知識と技術を高め、「佐賀ダイハツ
の吉田君にお願いしたい」と言っていただ
けのよう、名前を広めていきたいです。

Q. 未来の後輩へメッセージ

自動車整備士は修理だけでなく、作業説明
や問診が欠かせません。車が好きな方や人
とのコミュニケーションが得意な方に向
いています。自動車整備士を志す人が1人
でも増えれば嬉しいです。



Q. 産業技術学院の入校動機は？

高校卒業後は就職を考えていましたが、学
院の存在を知り、電気工事はこれからの
時代も役立つ資格だと思い入校しました。

Q. 学院に入校してよかった点は？

資格を取得できたことや電気工事に関する
知識が得られたことです。勉強や実習を通じ
て実践的なスキルを身に付け、将来のキャリ
アに役立てられる良い経験になりました。

Q. 学院生活の思い出は？

電験三種を取得したことです。合格通知
が届いたときはとても嬉しかったですし、
これからの資格試験の勉強に対する自信
に繋がりました。



(学院時代の写真)

Q. 学院で学んだことで現在の仕事に
活かしているのはどんなこと？

同じクラスの人が全員年上だったため、
目上の人との適切な関わり方を学びまし
た。クラスの人とのコミュニケーションは
今に活かされていると思います。

Q. 現在の仕事内容は？

九州内のプラントで、電気・計装工事に従
事しています。電気・計装設備の専門知識
を毎日学びながら、上司のもとで働いてい
ます。



Q. 仕事のやりがいとは？

日々の仕事を通じて自己成長を感じるこ
とです。新しいスキルや知識を身に付け、
工事の中で前回できなかったことができ
るようになり、その達成感が次の仕事への
モチベーションになっています。

上司・先輩からのメッセージ

どんどん失敗していきましょう。その方が学
びも多く、成長スピードも上がります。
サポートしていくので、安心して仕事に取り
組んでください。共に成長していきましょう。

国光施設工業株式会社 佐賀営業所
課長 片瀬 直也さん



Q. 仕事をする上での今後の目標は？

1級電気施工管理技士の取得です。この
資格を獲得することで、より高度なプロ
ジェクトに携わり、技術力を向上させ、専
門知識を深めることを目指しています。

Q. 未来の後輩へメッセージ

電気についての知識が無かった私が今で
は専門的な仕事をしています。まだまだ
学ぶことはありますが、学院での経験が
しっかりと土台になっています。授業も実
習も大変だとは思いますが、それが基礎に
なるので、一生懸命頑張ってください。



OB VOICE 04

快適な空間をデザインし、
地域社会に貢献する建物をつくる。

株式会社 三原建築設計事務所
樋口 晴風さん[建築技術・設計科 令和3年度修了]

Q. 産業技術学院の入学動機は？

父親が設計の仕事をしていたこともあり、
建物の設計という分野を学びたいと考え、
入学しました。

Q. 学院に入学してよかった点は？

在学中に建築士や宅地建物取引士、施工管理
技士などの資格を取得するという明確
な目標を持った状態で勉強に取り組む事
ができた点が良かったです。

Q. 学院生活の思い出は？

2年生の時の修了設計です。自分が思い描い
た建築をどのように表現するかを学ぶこと
ができました。設計の知識だけでなく、プレ
ゼン能力も身に付けることができました。



(学院時代の写真)

Q. 学院で学んだことで現在の仕事に
活かしているのはどんなこと？

社会人としての礼儀作法から実務的な知識
まで学院で学んだ全てのことが現在の
仕事に活かしていると思います。

Q. 現在の仕事内容は？

現在は設計補助として指示をもらいなが
ら、BIMソフトを活用した図面、パースの
作成、模型の制作などを行っています。



Q. 仕事のやりがいとは？

お客様へ3Dパースや動画、模型などを
使ってプレゼンを行い、デザインや細部
まで提案した内容を理解していただけた
時です。時間のかかる作業ばかりですが、
やりがいを感じながら楽しく仕事をし
ています。

上司・先輩からのメッセージ

建築設計における最も大事なことは、「建築
が好き」という思いだと考えます。色々な建築
物を実際に見て、五感で空間を感じ取り、地域
や社会に貢献していく建築空間を創造して
いってください。

株式会社 三原建築設計事務所
常務取締役 三原 季晋さん



Q. 仕事をする上での今後の目標は？

BIMソフトの活用や図面作成のスキル向
上は勿論、建築士として設計チームをリ
ードできるような人材になること、そして
一級建築士の資格取得を目指しています。

Q. 未来の後輩へメッセージ

学院を修了後、目標だった二級建築士の資
格を取得しました。学院で学ぶことは就職
後の実務に役に立つことばかりです。入学
を検討されている方は、ぜひ一度見学に
行ってみてください。



(学院時代の写真)

OB VOICE 05

「モノづくりが好き」の先には
夢が広がっている。

レグナテック株式会社
近藤 大喜さん[木工芸デザイン科 令和2年度修了]

Q. 産業技術学院の入学動機は？

高校時代にデザインを学ぶ中で、立体制作
の道に興味を持ちました。その後、学院の
先生から話を聞き、入学を決めました。

Q. 学院に入学してよかった点は？

仕事への心構えや基礎的な技術・知識を
学べたことです。同じ業界へ挑む仲間も
でき、安心感がありました。今でも連絡を
取り合い、良好な関係が続いています。

Q. 学院生活の思い出は？

コンペやイベントへの参加です。仲間と協
力し、睡眠時間を削ってアイデアを具現化
したりと必死に作業しました。コンペで
受賞できた時は達成感も大きかったです。



Q. 学院で学んだことで現在の仕事に
活かしているのはどんなこと？

手加工の応用である木工機械での作業は
学院で基礎を学んだ分、すぐに覚えられま
した。イベントでのリーダーの経験も生産
ラインで作業する際に役に立っています。

Q. 現在の仕事内容は？

入社後2年間は家具制作の最初の工程であ
る木取りを担当していましたが、現在は
組み立てのライン後半、主にシェルフやサイ
ドボードなどの組み立てを行っています。



Q. 仕事のやりがいとは？

モノづくりや家具が大好きで、特にレグナ
テックの家具が一番カッコイイと思ってい
ます。好きなことだからこそ頑張れます。
自分の手で好きな商品を作り上げること
や努力が認められること、自分で作れる物
の幅が広がっていくことも嬉しいです。

上司・先輩からのメッセージ

難易度が高い作業にも主体的に取り組み、自
らの技術の向上に繋げている姿、また、効率
向上のための改善活動にも積極的に取り組
む姿は他の社員の模範となっています。今後
も意欲的に仕事を続けてください。

レグナテック株式会社 第1生産課
係長 城島 祐介さん



Q. 仕事をする上での今後の目標は？

好きなことを仕事にでき、転職も容易にで
きる時代だからこそ、続けられる人に価値
があると思います。これからも努力を惜し
まず、技術・知識の幅を広げて、より必要と
される人材になりたいです。

Q. 未来の後輩へメッセージ

今は今しかなく、過去には戻れません。広
い視野を持ち、ワクワクすることを後先考
えずやってみると、新しい発見があるかも
しれません。もしその発見が家具だったら、
将来一緒に仕事ができたら嬉しいです。

